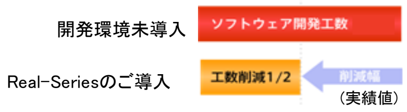
real series™ リアル・シリーズ

状態遷移設計手法を手軽に、コンパクトに導入できる
制御開発現場を重視した制御開発支援パッケージ

Real-Seriesはこれまで導入障壁が高いとされてきた、状態遷移設計手法を手軽に、コンパクトに、真に使える開発環境です。
制御開発現場を重視したReal-Seriesは、コーディング・デバッグ工程においても驚異的な効率UPをお約束します。

■商品コンセプト

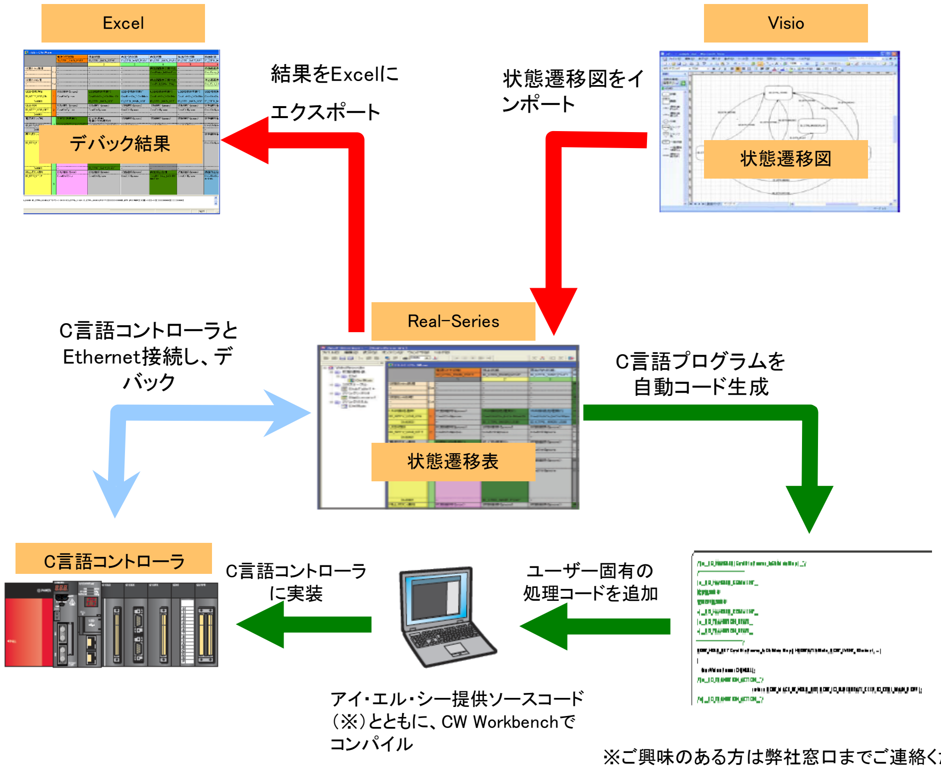
・可読性の高いソースコードを短時間で
　自動生成が可能
・デバック手順の自動化
によりソフトウェア開発工数を1/2にします。



■適用例

設計変更が多いシステム（製造ライン/製造装置）の制御開発にReal-Seriesを適用すれば
状態遷移設計手法を手軽に導入することができ、設計の検討漏れや仕様の抜けをなくした
高品質なソフトウェア開発ができます。

■ソフトウェア構成



※ご興味のある方は弊社窓口までご連絡ください

■可読性の高いソースコード自動生成 & ソースコードリバース

①状態遷移表のイベント処理以外をソースコード自動生成の対象にしているため、可読性の高いソースコードを短時間で自動生成できます。
②自動生成されたソースコード上で変更した関数コメント、状態遷移先などを状態遷移表に取り込めるので、デバッグ・不具合修正などの工程でソースコードを変更しても、簡単に設計情報に反映可能です。

■設計情報がそのまま評価報告書になります

従来、カバレッジは紙面上での塗りつぶしなど手作業が大半でしたが、Real-Seriesでは、パソコン上の単体デバッグ、実機上でのデバッグにおけるカバレッジを自動記録、保存できます。また、デバッグ結果はExcelファイルへ書き出せるため、設計情報をそのまま評価仕様書として活用できます。

■デバッグ手順を作成・記録してデバッグ操作を自動化するシナリオを作成

デバッグ操作手順があらかじめ決まっている場合、デバック手順を自動化できるシナリオを作成できます。また、手動でのデバッグ操作時には、デバッグログを自動的に保存します。デバッグログからデバッグ手順を自動化するシナリオを作成できるため、不具合箇所の再現、修正確認操作や、レグレッションテストを自動実行することができます。

■複数人開発サポート

Real-Seriesでは、プロジェクトデータをLAN上で共有する同時開発手法をサポートしています。また他のプロジェクトから画面遷移表をインポートすることができます。

■状態遷移時の共通処理

Real-Seriesでは、状態遷移表において、ある状態に遷移したときに共通して実行する前処理、および、ある状態から抜けるときに共通して実行する後処理を記述することができます。

商品ホームページ　http://www.ilc.co.jp/commodity/real-series/

INTERNATIONAL LABORATORY CORPORATION

技術的なお問い合わせ
株式会社アイ・エル・シー
FACTICS(ファクティクス) テクニカルセンター
TEL：082-262-7799 / FAX：082-263-4411
電話受付時間：月曜日～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00
Eメール：fa@ilc.co.jp